

1. 本時の目的

先行研究の探し方とその理解の仕方を身に付けることを目標とする。

2. 先行研究、事例の探し方

先行研究や先行事例を理解することは、研究テーマの決定から研究内容をまとめるまでのすべての段階において重要となる。研究テーマに対する理解を深めるだけでなく、問い合わせ立てる、研究方法を学ぶ、結果をまとめるなどの過程で必要となる。

先行研究を探す

例：Google Scholar、CiNii、IRBD、J-STAGE

先行事例を探す

国や地方自治体による報告書、企業や NGO、NPO による取り組みを調べてみる

例：神奈川県研究報告書、地域経済分析システム RESAS(データベース)、

3. 論文の構成

序論：研究の導入、何をどのようにするのかなど研究の意義が書かれている。

本論：問い合わせに対する答えを導く内容。論文の本体

結論：研究に対する答えが簡潔にまとめられている。

4. 先行事例の確認ポイント

以下の項目に注目して確認しましょう。

- 目的は何か
- どのような組織や個人が関わったのか
- 目的達成のために組織や個人がどのように関わったのか
- 取り組みの結果、目的はどの程度達成できたのか、残された課題は何なのか
- 先行事例がどのようにになっているのか、継続されているのか

5. まとめてみよう 個人で 25 分

研究テーマに対する問い合わせ

キーワード

先行研究、事例のタイトル

先行研究、事例の目的

先行研究、事例の研究方法

先行研究、事例の結果

先行研究、事例からあなたが得られたこと

先行研究、事例に対するあなたが感じた疑問や不足事項

6. 選考研究や事例から振り返る

まとめた結果を振り返ってみましょう。

- 自身の問い合わせに対する先行研究、事例を見つけることができなかった。
- 理解が難しかった、理解できない部分があった。
- ほとんど同じことが実行されていた。

7. 本時の振り返り 個人で 5 分